

産業用コンポーネント特集に寄せて



コンポーネント事業部
事業部長
仁平靖正 Yasumasa Nihei

2009年4月に当社の中期経営計画であるPOWER5計画にのっとり、コンポーネント事業の強化のためコンポーネント事業部が発足して3年が経過した。当社のコンポーネント製品は、創業事業である誘導電動機をはじめとして多岐にわたっている。これら製品の歴史は、それぞれに「日本初」というタイトルがつくものが多数あるが、いずれも日本の近代化、産業の高度化に大きな役割を果たしてきた。コンポーネント事業部が所管する製品は、このうち電気自動車用モータ・インバータ、エレベータ用モータ・インバータ、繊維用モータ・インバータ、そのほかの低圧モータ、高圧インバータ、産業用コンピュータ、スイッチングハブ・モデムなどの通信機器、真空コンデンサ、レーザ発振用パルス電源などである。

技術の面から見ると、これらコンポーネント製品を形成するための要素技術・固有技術について様々な技術開発を進めてきたが、市場のグローバル化に伴って、それぞれの企業が自社の得意分野を絞り込み、グローバルな事業展開をしなければならない環境となっている。このような経済環境の変化に対応し、当社でもコンポーネント製品の中で、真にグローバルな競争力を持つ製品・技術への選択と集中を進めている。この代表は電気自動車用モータとインバータであり、エレベータ用モータ・インバータである。さらに電気回路の整合器に使われるインピーダンスマッチング用真空コンデンサもこの重点製品としている。いずれも当社の長年のモータ・インバータ、真空バルブ技

術開発の基盤の上に生まれた製品であり、日々、お客様のご要望に耳を傾け、製品開発に注力している。

電気自動車用モータ・インバータは、1980年代からその実用化・小形化・低コスト化に取り組んでおり、最近では低トルクリップル化・低騒音化・省レアアース化に著しい進歩が見られる。エレベータ用モータ・インバータについても従来品に比べ大幅なトルクリップル低減を実現している。さらに2011年度には、シーブ・ブレーキを支えるシーブ片持ち構造のメンテナンス性に優れた巻上機も開発した。真空コンデンサでは、渦巻き電極を適用した可変静電容量真空コンデンサやモーター一体形真空コンデンサ・超長寿命真空コンデンサ・6000pFの大容量真空コンデンサなどのユニークな製品を開発し、リリースしている。

お客様に認められ、社会に貢献するためには、市場の新しいニーズを的確に拾い上げ、競合先より早くかつ魅力ある製品をリリースすることが必要であり、このためには営業部門・技術部門の総力を上げた取り組みが必須である。また地道な基礎技術開発の継続を基に、技術者が市場とコミュニケーションを深めることによって、創造したシーズをニーズと結びつける、開発技術者発の新製品企画も大いに期待される場所である。今回、3年ぶりにコンポーネント特集を発行することになったが、本特集が読者の好奇心を刺激し、次の新しいニーズ、シーズに結びつくことを期待したい。